

「いらっしやい! いらっしやい!」「ツー・フォー・ファイブ・ダラー」「安いよ! 安いよ!」
ハワイに買い物をして行く人は多いけれど、売り手



おそどまさこの地球は狭いな

になりに行った人は、あまりいないのではないのでしょうか。

ホノルルには知る人ぞ知る「蚤(のみ)の市」、スワップミート(Swap Meet)が二カ所あります。かつてドライブインシアターがあった敷地を使っ

たカムとアロハスタジアムの周りで、毎週水、土、日曜日の早朝から午後二時ごろまで開かれます。
どちらの市がいいか?

蚤の市

アロハスタジアムは、プロのおみやげ物屋さんが多く、Tシャツ十枚二十ドルとか、貝のネックレスなどを買うのに適していますが、私は断然カムの方が気に入りました。一ドル均一の八百屋さん、勢いよくはねているエビやロブスター、手作りの春巻きなどの生活市に交ざって、素人の出店が多く、掘り出し物が見つかります。私たちが出店したの

はカムの方、誰でも出店できるのが魅力です。
日本からの飛行機の直行便はすべて同日の午前中に着くので、その足で行くところ、その足で行くところ、入場料はどちらも五十ドル。売り手になる場合は場

所代が十ドル程度かかりまらいます。
私たちは、年末のホノルルマラソンと同日に行われた十キロステイウオークを歩き終え、そのあと蚤の市にも出店したのでとてもいそがしかった。日本の百円ショップで売れそうなもの

出店して楽しさ倍増



ホノルルレースデイ10キロウオークに全員の人も弱視の人も参加し、歩ききった

のを仕入れていきました。
まず売れたのが、ドアにつける小さなリース風の松飾り。正月前だったので、とても人気があり、一つ三ドル、二つで五ドルの値をつけ、売れ残ったら一ドルで売ろうと決めていたので、二つが五ドルで売れて、出足好調、ドル札を受け取った時は皆で歓声をあげました。

五百五十円で買っていった和風(たこ)は空にあげて見れば売れたと思うのですが、残念ながら一ドルで売りました。総売り上げは四十二ドル、往路に使ったタクシー代が三十六ドルでもつけはありませんでしたが、とっても楽しく地元の人との交流ができました。

観光目的入国の場合、働いてはいけなくて、売り上げはホノルルの福祉施設にでも寄付するといっているのでないでしょうか。
一方、ダイヤモンドヘッドはホノルルのシンボル、

ワイキキビーチの東側にある小山です。個人でも十分登れますが、ネイチャーツアーに入って、ガイド付きで登ると説明も聞けるのでおすすめです。
山頂の展望台まで、階段あり、トンネルあり、山道ありの片道一・一キロほど。低い山(標高二三二尺)です。体力に自信のない人も、ゆっくり、マイペースで、人の倍の時間をかければ、登れるのではないのでしょうか。今回の旅では全盲の人も、手引きされて登ることができました。

ベストは日の出を見に行くこと、次回は初日の出を見に行きたいと心に決めました。杖(つえ)と飲み水、帽子とタオル持参、良い靴を履いてチャレンジしてみましよう。(トラベルデザイナー)

せいかつ 21

